(日曜日)

側近者祝盃

限りなき慶びに浸りて

日滿要人の御祝辭言上と謹話

郷賦日公使を通び日本政府に脱電 に難ら、満洲國政府を代表し丁士 に難ら、満洲國政府を代表し丁士

膨脱の急を表するさころあつた

小川大連市長

本に竹屋駅保か河便の上さる「本に竹屋駅保か河便の上さる「本河ではされ河野びか記上せもめられったのはるな河岸ち来れるらせらった。

齋藤首相謹話

謝外交部總長

の御健かに御成長遊ばさる陸下の御機繁益を隠しく皇

んで慶祝を申上る

御影池署長

御前において

股東宮ニ關スル事務主管ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

関する諸般の事務は當分の_内二日發展通】芽出度く東宮野

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行み東宮ニ關スル事務ハ當分ノ內皇后宮職

二於テ之ヲ司

最初の御

事

昭和八年十二月廿三日

宮內大臣

浅

降誕最初

御儀式

賜劍の御儀を行はせらる

人、三雲に奉安の上帯々しく島太 内田にこだます

御祝品の

奉祝電 旅順市民から

則

り嚴か

の如き御殿電家な可決ら萬歌を三十三日午前十時懲避市館を選集

皇太子に 界 木 种 人行發 泊代喜本桶 人輔網 遊武 村本 人剛印 地賽一冊明閱公東市連大 御麗は 初の御對顔

に親く御傷に玉幡な寄せさせ の御新離な趣ばされたが、陰 の御新離な趣ばされたが、陰

整蔵、皇太子般下御総談の御懲子に 神離殿に渡らせられ皇后陛下に御 がせ経ひ、いさ御鴻院の御懲子に ではる、陛下には更に と御滅悦の御様子に

はこの日天皇、皇后剛隆下

首相以下參內

宮事務主管御制定

當分皇后宮職に於て司る

呈室典範御制定後 御下賜

教育機關等に對して

大臣及び入江皇太后宮大夫宛電報の公電機受さ典に財下継順にある

御殿神執奏及び言上方を請ふた。
を以て解陛下並びに皇太后陛下に

十五人

のものを

人……多額の財産を人……多額の財産を

社員會奉祝電

整器膨胀線二級に「皇位は皇屋子れた皇子殿下が皇太子によします。ことは部國歌法に定め締ぶ處で、ことは帝國歌法に定め締ぶ處で、

關東軍司令部

Ξ

富裕に原まる 既に世に亡し

大十三人…

上於ては

統計的研究の結果は く立出でた首人に載ての 人生の競爭舞台に継々し

三十四人……扶養を受ける

から御祝電

株倫文は文部省: また子殿 等の機關を經て多線の御下眺金む は天皇は、際神、臣自、とし、とし、神・とは、本の機能に特に有 多分教育又は児童保護等に願する 息は六十一日目の由史書に見える 大阪の思召しにて 機關に對して御下賜わらせられる が、その他浦一ケ年以内に製げら 他にの思召しにて 機關に對して御下賜わらせられる が、その他浦一ケ年以内に製げら 他にといるが、その他浦一ケ年以内に製げら 他にといるが、その他浦一ケ年以内に製げら 他にといるが、その他浦一ケ年以内に製げら 他にといるが、その他浦一ケ年以内に製げら 他にといるが、その他浦一ケ年以内に製げら 他にといるが、その他語と呼びいる。 太子式を駆げさせ総ふた御方し寿 第一本 大子式を駆げさせ総ふた御方し寿 まな

はおかせられた。
 は変形げらせ経び重大子の御逆に 御十一窓の御時駅正覧下を受けるとされた。
 は変形げらせ経び重大子の御逆に 御十一窓の御時駅正覧下を受けるとされた。
 は変形げられたのは安徽天皇で御 居る御事である 正天息は浄七畿にて後機町天皇はと総が神様戦 一種降膨後適常の御時期に立太子の とられたことは、史書に記されてと経い御様戦 一種の御時駅正覧下を受けるという。

」殿下御降誕

ても第一皇男子を皇太三 にあらせられ郷酸代にか

一條 立太子の禮を行ふ期日は で 立太子の禮を行ふ期日は 生立つるの禮は勅

る後大動位に叙し新花太子、皇太孫は孫七年

日嗣の大皇子御降逝。 0

事るだに最多い値かである。 事なだに最多い値かである。 合し、下九千萬國民の默等、そも月に盛んな抗機、この御殿事に際

小羅倉紗 司

人連府信濃町市場 電話四四五七番

來る廿九日御七夜に

皇太子に關する 主なる法令

######特別養老保險

目的の財産を手に入れる保險

据佐土 阪大 社本

正年左の電報な宮内大臣に登した。 皇太子敷下御誕生遊ばさればに 皇太子敷下御誕生遊ばさればに 登しまへず、三萬制員を代表 した代表 時大連港外着鍛定 竹の鼠生の媚槃え萬哉、大日 赠答品 1 向 の中 恰启眉 辛 .80 以上各種

號八十四百九千九第

御祝辭言上

御安産祈願の赤子

皇國日本の

変刈軍司令官より

帝國萬々遊

此の住日、繁六十五

江藤株式會社大連出張所大連出張所 大 选 山

御慶び申上げる大連市民

日本紙號外を手にして國族を掲げる市民寫眞上圖大連神社々頭でお祝ひの祈願下

日

変別大将な訪ふさ大将は

てゐるが、大連市では早速二十三十大津日嗣の親王殿下御除聡に市中天津日副の親王殿下御除聡に市中

學校生徒、一般市里

町十時返に滞俱グラウンド 生徒、一般市民なご二十九 學校四年以上、女學校、中

蘇掲揚、闕簇降下、萬 時、市長挨拶、君ケ代

全満に歡

聲漲る

奉

天

子御縁駆の戦が中職されるや金市民事天電話」泉、新京中央放送時から

たまし天城 年以上の生徒五百餘名参加の等で たまし天城 年以上の生徒五百餘名参加の等で 一次まし天城 年以上の生徒五百餘名参加の等で

でて何糖も取り得で送ばられて何糖も取り得で送ばった。 でで、一般が悪いて大学で ではんさられが、鍵が驚いて大学で ではんさられば、鍵が驚いて大学で ではんさられば、のに誠はあわ

大子殿下の阿隆誕を報じ各片は一 大子殿下の阿隆誕を報じ各片は一 で、風かを撒げ寒彫環殺は登市に で、風がで、長藤平大國族バー で、風がで、大國族バー

松以下四名の乗組覧は芝罘戦事館とお戦脈艦戦海地艦設山本軍

遭難船員歸る

民場って御徐望

時入港の十八共同鬼で小高巡査に時入港の十八共同鬼で小高巡査に

在日本順さなつた養物流船保丸のため

浪速野

旅、行列

萬識な唱

は据るしく緩和し様に閉

滿洲國の曆では

ふは

御命名式

几日

行列奉

合代表協議會で決定

菱刈軍司令官謹話

(=)

事情は単に判人のみならい申上げる繋が市中に溢れ

満鐵は午後休み 今夜の家族忘年會でお祝ひ

は、出動した動気はお自出たうな。 に、出動した動気はお自出たうな。 は、出動した動気はお自出たうな。 は、出動した動気はお自出たうな。 は、出動した動気はお自出たうな。 は、出動した動気はお自出たうな。 は、出動した動気はお自出たうな。 が単すで乗付ける。 では、これてお歌いの相談だ。 でが込まれてお歌いの相談だ。 でが込まれてお歌いの相談だ。 でがびまれてお歌いの相談だ。 でががず

答時半、神明高

茂久屋花部

古い体お持ちの方も植るて差上

る朝日と共に

と煙花で吉報

お喜び

關東軍司令部

『東京二十三日養風流』過後常樹

測量班襲はる 匪賊に滿洲國

湯淺宮相放送

税の職権を放送した

E MYWAR 選出し ◎松竹梅費出し

萬歳を三唱

雪の新京に慶び

盗る

新京中繼放送

て埋められ 膨脱の減患 れ市中は早

偽刑事

思 三日午前九時五十五分市内大脈町四 三十書地質維御前屋に二十七、八四 三十書地質維御前屋に二十七、八殿メイアの日本人が現れ閉められた。 こ入り込み出合せた同店主光尚鑑。 ま入り込み出合せた同店主光尚鑑 れ質量を脅し変を膨ました。二十個とい節季の移に又々質利率が現 拳銃で脅迫

帝都に歡びの波打つ

ばち、適當を一個はどちら様 興新錫床銀時 金 輸 屬 器器器置器計

バ査職装蓄高 ・ 甲身音誤 刺 細 ガ石工具器機

只今 編引附大賣出し中 州一日まで弊店にて 一等百圓八五千

THE STATE OF THE S

一日午前七時五十分頃間南縣奥隆

御買物 歲 卡

0

時間延長 三十一日

th

只今! 迫

夜間營業二十六日一三十日 十一時半老 法 美 全館歳の市大賣出し中 全商品にてもる誠意を御試し下 八氣は高い

1

分下大 (3) 市から大土へと下側を作る力

3

ノリスマス裝飾用品と 用品庫

産阜守 號特 小中大大 金二圓四四 錢錢錢錢

中順所に物指金を 電話三三

四七七六

理嫌電線のため二十二日夜明け並に約四百圓の現金を接着した

したのみで減量してなり今更なが が離日支軽官蔵では値かに機関検

**西の風 **

二十四日

新京〇九一時

らかはな支那響祭の総分に

船客

關長暴行

罘置籍船有利號で 貢重品を強奪して更に陰謀

肺結核、流感ル清算撲滅 オ

發生器

海洲各地販質特約店票る(各種定質特に三割五歩引) 静緒終、助腰、百日咳、喘息、氣管支力タル引車・開始結終、助腰、百日咳、喘息、氣管支力タル引車・

中 西

商

本

吉水

州内モチ米特選品 形 前 モ チ 米一等

升升洋

モチル

典米

蘇养選石拔品

升

で品質保證迅速

音検町四四

分

(白曜日) 開

幸長

八作野よれ子氏は師の授後その資故清元延愛裏師高弟市内掃勝町六

式已辰

作野夫人名取

油石ガ

洋服類意變

火カツ

が强く絶對に安全で費用の安

界各

國酒類

食料品

9

清元延榮加津

日

沙竹

海南

of the Taste

トケチャップ

大 白

「五郎。動って了はうか」 「程度が云った。 を観が云った。 たへ、松原の刀がひやりさ

大人用折叠式輕便 dA用各種 車 附

恋の青空

4

野の日のち

《各百團·會社·縣院·轉用題》 大阪市海遊監工期一三一(香地 長 台 家 具 製 電 區 要 川 一 巨 入 三 書

IE >×

月

譜

りになったも同然だる歌って描

さんな刀で斬れるか。

語なかぎりに明んだ役人の類べ

ちらの船をこつちへつける。歌歌

元紫遮阜木建後は脚に収き頭にが を頭れつゝあつたが其態が割る ときものあり今畦栗瀬岬の組織に のあり今畦栗瀬岬の組織に が方が東土地が割る が方が東地が割る を が方が東地が割る を が方が東地が割る を が方が東地が割る

成成成ま

奴子

集ひはサロ

孔雀

キ町(三日月湯前)

リスマスのタ

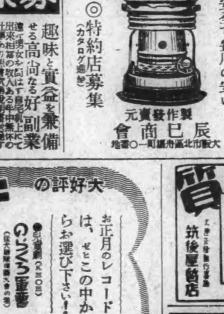
長谷山麓菊長谷山麓菊

正更

ほがらかな紅顔

特獨なサービス





・ 御家庭必需の

らお選び下さい! お正月のレコ 月のレコード

●新小唄へ三コミ 日本、古頭 機能・団 奴 機能・団 奴 機能・団 女 日日の大

◇廿五日のクリスマス晩餐 御好み次第の御料理にて御一人前一画 一年中御禮の爲め特別料理を調邀致し 一年中御禮の爲め特別料理を調邀致し 人十銭に致します します から是非



忘年會及新年宴會は インスコードとしている。

電話二二八三〇番 すきやき會席、一品料理 に御申附願ます

謹みて 御降誕を慶福し奉る 海路を慶福し奉る

此 の暮の連鎖街各店の商品、値段、 びもなりして行うでうなりというというともではなっているというできていると サ ビス振りを 日の大きない。 10 大きない。 10 大き

5 2 ¥ 2.50 美しいデコレーション 風味豊かな晩餐 が御待ち致して居ります。 大連ヤマトホテル 滿員に付締切りました

年

用

日

日曜

やがて種かしい獣びの

氣の利いた事身廻り品

二十年八和

のて、

船頭はが

松原派八に明まれて、身動

新春映畵

大連映畵街

こんであた。

四·廿五日兩日午後六時

0

E

大連大山

クリスマス晩餐舞踏會へ!!

ノ夜の第一歩は遼東ホテル

0

して、始

帝

館

6

シャズ・バンド特別出演・盛澤山のブレセント

東ホテ

各

名産

皮御覽下さ

V

ス ガ

船でりにのそりさ立つた五郎兵

いたち、機能だぞの機者を離だって居るがよい。びくりさでも

000

「さち、漕げ、

「やい彼人ども、

惡鬼

(296)

江

中へ駆り渡された。

を不能な機能、おのしたちは何

名な名乗

二月

四

事がすさんで、他の者の

四年度の大連映画館の新春 西まりさなり六館一覧に到り を動きる。 日本の大連映画館の新春

お正月の紳士用品 シルクハツト 英國製… 中山帽子 ·¥ 4.00-¥ 7.10 中折帽子

國產品……¥ 1.70—¥ 5.60 英國聚……¥ 2.40—¥ 22.50 伊國聚……¥ 12.50—¥ 18.50 ワイシャツ

自キャリコ…¥ 1.60—¥ 3.60 自プロード…¥ 1.70—¥ 5.90 セダ胸……¥ 8.3)—¥ 7.50 本 ク タ イ

ハンカチーフ | 横彦品……・ ¥ 3.0一半 4.00 英國表……・ ¥ 3.10一半 12.00 類



服飾品を豊富に カラー シングル……¥ (.3) ソフト……¥ (.25—¥ (.95 胸 釦……¥ 0.40—¥ 11.00 カフス釦……¥ 50—¥ 19.50 取揃へ 表 純毛製……¥ 1.70—¥ 12.90 ラクダ製……¥ 12.50—¥ 40.00 組 製……¥ 0.30—¥ 1.80 純 毛……¥ 0.50—¥ 2.50 スパッツ 英國製……¥ 4.40—¥ 0.80

H 三十月 見い品 名古屋 最安値の店 **攸具地座布** 町電話六三九1

迎春の お部屋を装ふカーテン 又賀客のためのテーブル掛

今年の流行品取揃 御贈答にも好適 (只今。 輔引附大賣出し中)

聖德街三旦二五

九四

支那の高率關稅で

激減を見た粕と油

逐月軟調の商狀を辿る

和蘭政府が

當制實施

出來高六百萬

倫敦銀協定批

錢鈔市場

米國の銀協定批准

無條件攝取は考もの

但强材料に相違ない

西正金支店支配人語る

移民地ごしての

拉。濱。沿。線

豊饒の地で最も適地

二十三日撃魄りが九千萬國民を鞭呼非舞せしめた皇太子殿下の御生誕は、殿で國家民生を駆けて、古島人を市場に映して緑配頓に娯響、株式、銭銭、特産等一館に上向き、配讚を飛ばきかの前大様一個六十銭高、大新三圓十銭高、織坊三圓二十銭高、織新三圓二十銭高、織新三圓二十銭高、織坊三圓二十銭高、織新三圓二十銭高、織新三圓二十銭高、金板に全目の御殿事を設想し百七十二、三圓蓮の安値保合から百七十七、八圓童さ先走つて奉殿様場を示理して。先のであるから、二日間の依日を挟へ覧方の神喰ひ急ぎもあり突飛高は記さなかつたが、市場人のであるから、二日間の依日を挟へ覧方の神喰ひ急ぎもあり突飛高は記さなかつたが、市場人のであるから、二日間の依日を挟へ覧方の神喰ひ急ぎもあり突飛高は記さなかつたが、市場人のであるから、二日間の依日を挟へ覧方の神喰ひ急ぎもあり突飛高は記さなかったが、市場人のであるから、二日間の依日を挟へ覧方の神喰ひ急ぎもあり突飛高は記さなかったが、市場人のであるから、二日間の依日を挟へ覧方の神喰ひ急ぎもあり突飛高は記さなかったが、市場人のであるから、二日間の依日を挟へ覧方の神喰ひ急ぎもあり突飛高は記さなかったが、市場人のであるから、二日間の依日を挟へれる。

二十三日前場の大連特能市場では、

たり、のの配籍が基大子殿下御生職を

のありて発むよくしたるとが構のの。

主家の修理能に二十五萬四千枚の

一部を眺めて内地側の買金種リ三井

一部の配籍が基大子殿下御生職を

四月末に至る本が六月間を治験が、大豆の機関に二十五萬四千枚の

一半末に至る本が六月間を治験が、大豆の機関を変施すべき

は水高を流して験り膨脹を辿った

一十二十三日前場の大連特能市場では

一十二十三日前場の大連特能市場では

「一月十三日前場の大連特能市場では

「一月十三日前場の大連特能市場では

「一月十三日前場の大連特能市場では

「一月十三日前場の大連特能市場では

「一月十三日前場を変施すべき

「一月十三日前場の大連特能市場では

「一月十三日前場の大連特能市場では

「一月十三日前場の大連特能市場では

「一月十三日前場を変施すべき

「一月十三日前場を変越で、

「一月十三日前場を変越で、

「一月十三日前場を変越で、

「一月十三日前場の大連特能・

「一月十三日前場の大連特能・

「一月十三日前場を変した。

「一月十三日前場を変した。

「一月十三日前場を変した。

「一月十三日前場を変して、

「一月十三日前場では一九三二年上

「一月十三日前場を変して、

「一月十三日前場で、

「一月十三日前場を変して、

「一月十三日前場を変して、

「一月十三日前場を変して、

「一月十三日前場を変して、

「一月十三日前場で、

「一月十二日に、

「一月十二日に、

「一月十二日に、

「一月十二日に、

「一月1日に、

「一月1日に、 たた法採用

明年二月から

明年一月十日頃からいよ~~假 後つて地震線の燃泉開始と共に輪戦を開始する運びさなつた地震 入品が繋好に供給せらる、こさに繋り、日本さ北浦さの転送空路 なられるさいふ工会に使此相俟っのみならす周防上よりもみるも重 て北浦の黎明に控電線からださま ななす大幹線であつて縦り総濟上 てに拡大なる期待が悪はれてゐるのみならす周防上よりもみるも重 く …… ◆

大豆混保查定會議 概ね原案決定

記録破りの多數出席

の買に

ので二月限十四個二十五銭を鳴へ 理が設に被勝を逃ったが、二月に入るさ買練 要になく、月被に比も終一圏方の で変がで減じた、二月に入るさ買練 が表を減じた、二月には南支筋の

廿一日公主嶺農事試驗場

詔書公布

農相の希望

兩院交涉會

| 東京特電二十二日数 | 考へるごころまでいつてぬないのだ。 「職器問題につき影大座様は左の如 も、所謂関東軍案の實態を知ち ・ 所謂関東軍案の實態を知ち ・ 所謂関東軍案の實態を知ち

形骸のみ持越す

輕々に改組は出來ぬ

界亞民族文化

舊東北要人に

學良打電

『厦門二十三日最同道』 常地家所 都電によれば、二十二日中央軍飛 行機十二機が突血産州を機築、十 九路軍及び市民の死傷多数を出し 九路軍及び市民の死傷多数を出し

陳濟棠氏狙擊

さる

業課長は二十二日午

藏相の改組案意見

農村問題根本對策

來る廿六日閣議に提案

各省會議を開かずに

満鐵改組案片づかん

世間は案の内容を知らずに騒ぐ

荒木陸相意見を語る

中央軍飛機

日

農村、思想問題等で

休會明けを

待つ政戦

意見の一致點

痛烈な論戦展開か

議會休會明けの形勢

東京特體二十三日孁 第六十五 があったところから を設定したことが特別である。 (大) では、大) を (大) では、 (大) を (大)

慶祝の氣分溢る

きのふの議會召集日

トと兩院成立す

聖上の親臨を仰ぎ 睛れの開院式 廿六日午前貴院にて

| 常は二十三日参風通】第六十五 | 参の結果、二十六日職れの隙院式 | だされた、常日天皇陛下には御盛二十三日登風通】第六十五 | を告げたので、その旨内閣より上 | を行ばせられる旨二十三日卿せ出

松岡氏の聲明書

齋藤駐米大使

しワシントンに赴任するさの噂信 博氏は一旦降朝し天皇陛下に採場。



者の 言葉

おれ等は、南へ、北へわれ等の生命線を聴るために、おれ等は、南へ、北へわれ等の生命線を聴るために、満帆に風を空むで解出しようさしてぬます。 一私は、ことに満州日報の覧い級上をかりて「南壁製造」と関し、海の雄者呂宋助左衛門の一代を書いて見

玉手縦からは何が出るか、米水く御愛黴の髪を得ば、傾着の幸蔵これをして毎日鑑君さ栽に、軈じく一日を過ごさうさする心臓と、充分掛シスさ、亜種奈さ云ぶ異國人の続き、その鰺々の趣供わる勧誘さを攤 ない――私は私の本分を守って、異国の香ゆかしい、海の職兒に彼の傳記を書かうさ云ふのではありません。また考證正しい歴史にからい、海の職兒に の南洋に放って、南へ南へこ邀出した彼が一生思ってるます。歌遊男敢なる彼が、輝々たる暖

御贈答用 0 には

成立

『デリー廿二日養國通』印度政際では製薬の印度戦権が行法率も を本日立法議会を通過し立法議会をあるのものもクリスマス休暇に入 会そのものもクリスマス休暇に入 際に入つてゐる日 ·・ 食師は一月第 さになつた、依つて既に最後の殴 來月第一週迄に

部の意識的かで且つ日本顕像の重 は表面日印像酸の結果により微量 は表面日印像酸の結果により微量 は表面日印像酸の結果により微量

印度ボーア長官 一般にせんさするものだが、日長官は本日開館問題の影響に突如 要商品多く成行き家大視さる 雜貨關稅改正 福建政府を否認

西南政務委員會に通電

は第十九路戦の散後を動くため海 は第十九路戦の散後を動くため海 いまこさになり、海軍部長院総第氏自 たまになり、海軍部長院総第氏自 たまになり、海軍部長院総第氏自 たまになり、海軍部長院総第氏自 たまれるがその実験不明である。 は財子機々南下してゐる 國府海軍部長 混保見本査定會

自ら出動

忘年書 東 主催 Ř

の配當

不運布幸協みの生活

原高島派易斷總本部 高島胤卿先生定應 足評ある

二分増配した合同油脂……相石油は配當を復活せん… 能登町六十七 ミト 鳥下 ネヨ 山内 掛大四0三話電 (ク 食ハ産)

種 各 ー タス ボ 案 圏 篩 装 クツバードンイウ ……番四七八五屋……

大倉金庫本店 あり、「大倉全庫」に御留意を乞を弊店類似の名稱を冠せる金庫

小大說衆

建設事務所長

濟の

M

P.

Å

※解消聯盟組織

駅でおいかの鈴木氏亨氏の力作品『南鹭彩船』を の強則たる面目が紙上に踏動する で下の新進掃書家布施長春氏が再びこの名コムビをいます。 機器は假者の珠玉器「紫分樹子」で影響を搬び良きコムビをな うけて交駆の大綱所薬池覧氏の門下にあって大衆 山麓江氏作「鬱鬼悪鬼」は変蔵者のが評喩来穂に 一般すること、信じます。 幸び歌歌を鳴らんことたから 附者相快つて非常時日本に適はしい海の

氏 関かれたが、二十二日は午 合せを遂げ午後六

資金繰り 方針決定 滿鐵首腦會議

徐順整会に打揃って出席した

大帝ですることになり、二十三日地では、林忠地は三十七日登門司よりうちる地域は二十七日登門司よりうちる なるなが、 佐中、河本の各理事では、 大の名が、 佐田であれるないでは、 佐中、河本の各理事で、 大の名理事で、 大の名理事で、 大の名理事で、 大の名理事で、 大の名 は、 大のる は、 からな は、 は、 からな は、 か 見て礼儀を楽集し、なほ一部は検 でに大陸の議が概まった 補銀正訓練駅は大艦球府方蔵さの『東京特電二十三日繋』上京中の

策意見交換 錢鈔市場振興

招待し市場撮影に関する意見な後五時より取引人有志を熊英様

於大連商工會議所樓上當二十三日、二十四日兩日間 電正札陳列會 支那緞通の特別出品あり

た 世話人 か

藤田(電六人一九)

東拓は日魯株を手放せ……… 大幅を行つた大阪窯業セメ 九州炭礦の増配と次期……… 九州炭礦の増配と次期……… 大川炭礦の増配と次期……… 鴻連會社 恢復途上の明治澤連…… 学び上る 東京橋浩船の配路復活さ今後

定期市場與

至誠天に通ず

永井拓相の慶祝謹話

満洲國の民衆も

しく慶祝

遠藤總務廳長謹話

御降誕を壽ぎ奉りて

ま一国典隆の期に際するや、そ その慶兆決して後少でない。 凡 日の天れ現下の大勢に考販し、

る。そのうち最も感響の情に堪さして、天佑 か褒赦し、剛勝の殿々養達さして、天佑 か褒赦し 給ふか見さして、天佑 か褒赦し 給ふか見

祝閥の課稅

三十三個の品に對しても十二個

當局既に考慮

惟みるに我が皇家に於かせ、渡らせ給ふこさである。護

酒みて按するに、息長男

執照目的

一、清鍵が清洲國三新線建設及び一、北峰路港特に經洋港灣全部滿 委任經營確定直後のこさゝて滿 蜂ա道一元促進の前提である ・地線道高局は興識なきも安泰線 經由實売低下さ併行せもむべき 物も護らさる方針にあり かも渡らさる方針にあり かも渡らでも大連集中政策を 標前し、大連、釜山、北峰の三 海道高局は興識なきも安泰線 にあるさ總督府常局は固執し一 かも渡らさる方針にあり が譲さしては大連集中政策を 福祉高によりて熟絵して 地域のであるさして、 織場でもては大連集中政策を 相は高能販道一元化は國策上常然 をの見解によりて熟絵して、 が現されるものであるさして、 織場でもては大連集中政策を 一般的に身識喚起の無過震性され をのまた。 にいたつたので今後の動向は注述 をのまた。 にいたったので今後の動向は注述 をのまた。 にはする

林總裁謹話 右御執券などふ

前十一時三十分左の如く宮門省に御殿御を奉呈した

卅

日マ

デ

御祝辭奉呈

袋小聢

る。これ我が同様の永劫に亘つ へて何民の則さなり給ふ點にあ

和な仲張するものは天運であるが、耐も人 る、國民の努力、下にそれな意

□製食的製練でかれる 「製食的製練である人の関係にある人 工製食的製さな人の関係にある人 工製食的製さな人の関係にある人

日下内務局長の意見

豆信株主

定價四 五 圓

上 大號

定價六○圓

ラデオ放送、戦略

OHEIHO 01180

皇太子殿下の御降

座ぶと

一十日ョ 2 杜蘭本··· ¥ 12.00my モスリン友仙 (残品)

軍三七六の番

成であります、其れ許りでなく 三十銭の概念は順か意外さする

例数示を触びます の衛物は受取りた の衛物は受取りた の衛物は受取りた

代がしてわりませ

り同時に二個送りましたが其備。 ■の前記同機物根準戦を内地よ である得ません。

奉天代表者會議

が値下を要望

名語 白龍正宗 自**龍**酒畫

哈市經濟團體から

大豆聢り

ウキスキース

DHOK

無聯幹部に

ちうの利便は少なからさるものが多くなり、こ

五品株主 年五分

がに思はれた機会は同三時四十分 がに思はれた機会は同三時四十分 がに思はれた機会は同三時四十分 がに思はれた機会は同三時四十分

00,000,11

音

年末年首の

御進物用に

お正月のおようと お正月の 娛樂用に

是他 五 国 定價五.

SHIP AND LINE AND LIN 三五圓





今宵のダンス 同じ踊るなら 浮世の天

返品、返金御自由はモット

露西亞毛皮貿易商會

大山通り三六(林祥行第)電ニーハーハ

毛皮の御用は多少に不拘品物に絶對責任を持つ弊店で在庫品山積、銀狐、栗鼠高級品、荒毛付き獺、豐富新入荷

謝恩の爲正札一割より二割引 類歲末大賣出

門松ごお飾り

一夜飾りはいけません

ち生活吹箸たはかり手を省いて

お

する方 にているにはいるしておなれるとないな大もさにはいりをしるをかかりませんのではないないと、大陸院院を

へ出てなれば松の小枝に輪飾りてる事になってゐますが、その心さ

みがやつて来ました。今年は二十四日が日曜、二十五日が祭日三二日のオマケがついてお正月の七日

リスマス、お正月、追羽根、双六、スケートを動くの楽しい歌をのせて子供等の待ちこがれた気は

學校側から家庭へ

まで恰度十五日間のおばみですが、この答ばみ中のお子たちの教育に就て慰校問から家庭に黙する希

ちのほに、そして一家の健康のた思いまし

夜具の裏地

令柳本吳服后

・ 一 かに関りませんが襲一れ、撃科の後替し意り勝ちにはり です。ことに年末年始はごこの家 食べ 過ぎや間

大きいのばかりが立派ではない、

にさし更に枠のほから紅白の水引にきる、機子を腹にさる、 権

華やかに触るにはこの

五五。四五四。藏以八五。金八七。

惡習慣を矯めるに

其他の継事に煩けされ場い時です に悪い智慢をつけたりきことを に悪い智慢をつけたりきことを されりすることがあります。要智 に就ては毎日時間をきめて復智さ に就ては毎日時間をきめて復智さ

斷新棋

樂しい多体みが来ました

光榮の兩御乳

人奉仕

野口善子で心進藤はなで、兩女史

水道七年に達せられたる後、皇皇 なられます

して御降聴遊ば

命を見る客でわります。

院教大手合戰譜電

四段整澤庫之

畏し兩陛下の御慈愛

贈答何き

遊廿年で折々藤田嗣治

へ或エンゼルの死… 小當懸 說選賞 明け

有三論正宗白鳥

增井幸雄 佐々 弘雄

論の社會性と反社會性(古今東西の具體例に就多年的東海 際聯盟は沒落するか?後の開題の解析で、東 問題と內政改革。除地域機對して内籍問題に並及んだ。 横田喜三郎 方成美

マ卅四年への展望 ▽卅三年度の綜合史 ▽非常時認識の伴侶

恋の花と馬・伊東祐治

小山いと子

スの 經濟學

老巨頭以夕之政界的抱真多幾述才 婚の提 曹島文明評川等が、)一大森義太郎

の題を を 提が 通数 一 谷 崎 間 一

東株取引所混亂の顯末

波多野乾一

畑建獨立の背景と動向

九三四年の政界

灰金夢反映:

して?

營口の麥粉取引

七百萬袋臺に垂んとす

開魯赤峰間道路

調査班出發す

四月末頃工事に着手

村民の 好意に

長事改良機關を擴充

震作物、家畜の優良種を供給

施設

年に入つて日本徳の取引は帰さ金 東に入つて日本徳の取引は帰さ金 支那の奥地に於ける購買力の被逐 支那の奥地に於ける購買力の被逐 大変形の製地に於ける購買力の被逐 大変形の製地に於ける購買力の被逐 大変形の製地に於ける購買力の被逐 大変形の製地に於ける購買力の被逐 大変形が大変形が大変形式を大変形式を 大変形が大変形式を 大変形式を 大変形式を

・ はである
・ はである
・ はである
・ はである
・ はである
・ はこの、の二八袋
・ 上海物 四、五六七、四五〇
・ 大二九七、四七八
・ 八十二月六日現在

春耕會議 奉天省で開く

二九五、二八二袋 二九五、二八二袋

「春天」奉天省各駅の本年度製産 をしく製漆し豊村は非常に挑っては明年一月各駅域と豊村は非常に挑って食公署におい へる映態にあるので食公署におい へる映態にあるので食公署におい へる映像は着り、 では明年一月各駅域及駅(代表者)

口物までとは

特産物の輸出手續きにつき

取敢ず滿鐵に請願

さ共に帰さ終りを告けたが誤激動 さし久影破日本號は上海域を監察。 電車大」略和八年度における繁山一監後の課根通り昨年度の四百萬袋

盤に踊る姿

営口小學校スケート場結氷し

でレコードを終に膨入し扇火は がレコードを終に膨入し扇火は に巡廻の方波にて依奥することと

列車中に

天然痘患者

攸間は密輸入

か居れるがそ 大し二十二日 大し二十二日 大し二十二日 兒童等嬉々と戯る

白晝は賭博

瓦房店切つての親分

復縣警務局で檢舉

られ様に常口においてウ

拍手のあらし 華やかな兄童學藝會 の木渡り

のかける。 を被案ではクレソールが高端ではクレソールを設定を を行ふ外同点者は最後車機に居た を育な外同点者は最後車機に居た を変換。する等態然感性の を変換。する等態が、 を変換。を変したが、 を変換。する等態が、 を変換。する等態が、 を変換。を変したが、 を変換。する等態が、 を変換。を変したが、 を変したが、 を競見直に安東事物所に取然を観り車に於て滿人天然語

東京·大阪田邊商店

將校歡迎會 公主嶺で開く

奉天鐵西工業地 貸下げ狀況 本年中では唯の八件

本したが今時を製けて本月より を表する。 本したが今時を製けて本月より 本したが今時を製けて本月より 本したが今時を製けて本月より 本したが今時を製けて本月十九日輪 なる野成都を製けて本月十九日輪 を表現した。 本したが今時を製けて本月十九日輪 を表現した。 を表現した。

服用します。

甘く、小兒は喜んで

その味は、蜜の如く

される所以です。

娛樂品線に

見鎖咳劑として、第一に賞用のでも、かやうな後作用が経れているが特長で、小りに起身な見重に奥

チョッシンは馴性の袪痰劑と

ものです。

当班、遊園班、駅電班、施原班を を表する。

定の慰問さなった

「せき」は止まつても、後で便秘を

第一に撰ばれる?

したり、食慾を失つたり、頭重や

有り勝ちです。反つて仕末が悪い胸部に苦悶が起きたりすることが

【廉剛】日本森十字社第本君達婦人會満洲本部にては二十二日午後 人會満洲本部にては二十二日午後 代表し総間金及び馳散名は本部を 代表し総間金及び馳散紀を降戦が 成成院及び海軍要遷都病院に贈り 成成院及び海軍要遷都病院に贈り であるた、同會においては深来より

傷病兵を慰問

小兒鎭咳劑の

● の三鳴かりて鯱鼓が土薬は鑢遊西鉄 兵然に○蘇木都は 窓兵 隊隊に入

歌感探覧がされて業者は現智品像 苦燥に響ぎつゝある胰態である 国五十段だったが小洋五国四十段 落花生態は百石から多いのになる に下溶して居るが現在の像径では さ于五、六百石のストックを抱へ 内藍出漆花生は従來石能り小洋六 戦の腺想望み薄で覧内二十七月の 内藍出漆花生は従來石能り小洋六 戦の腺想望み薄で覧内二十七月の △大島町五芹濬喜三郎は〈五九〉は

◆愛國婦人會族順支部では來る二 を 十六日午後一時から民政署に於 唯 十六日午後一時から民政署に於 唯 なった。今回の受章者は二十二 方面へ在任中の謝狀を寄

氏方では十 鐵道○○隊 十二日鐵嶺着

取締りが要望されるやうにはつた、機能があり一般牽貼の騰能底処の

小見のせき薬

心胃季の家庭常備薬!

い。良く効きます



町田池元三郎南遊より遺紀する国職職告集は東京市日本権両本



る爽快さを得せしむ。 常利戦を緩和し、過銅熱を除去するため、患 財戦を緩和し、過銅熱を除去するため、患 発透性サ リチール酸グアヤコール刺



内もの

いてゐると

になるのは:

新一製像を貸はしめ晩練の係め一環を の特定費上金二十七百餘元の大学 の機等し更に挙伏一振賞也十十要 が配に繋じて遊走したるが販

なく引機を配って

大洋二千餘圓を强奪逃走

悪事を働

く店員

荷物便扱ひ

増加の傾向

雇主の注意を要望

19日 清瀬々選部総楽器にては 年末年始の監督品要返に鑑道小你 何である、助技は十年(約十三版 ででは窓日中に宛先に無粋でも受け では窓日中に宛先に無粋でも受け では窓日中に宛先に無粋でも受け を繋では窓日中に宛先に無粋でも受け を繋では窓日中に宛先に無粋でも受け を繋では窓日中に宛先に無粋でも受け を繋がられて送り出し を表する。 では窓日中に宛先に無粋でも受け では窓日中に宛先に無粋で は、一般でも受け でいる。

に用ひ出さ

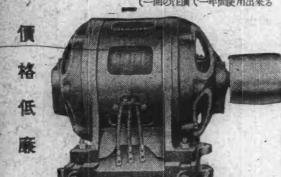
れば銀貨です 中には金を含んでゐますよ、こ 中には金を含んでゐますよ、こ

廿三日熊岳城公學校

贈答品の小

活動を減殺し、鈍痛及び劇痛は短時間内に消退す。 局所に展布するのみで患部に深く滲透し、病菌の 外用藥 ・ 特接の減少を見ることを得る。 を痛去り熟眠を得せしめ、翌朝 で間に刺痛を訴へ、ために安眠 膜 ブラピア -肺-氣管支炎

(一回の注論で一年間使用出来る



□其他實用 南

な

大連市丹後町二十五番地

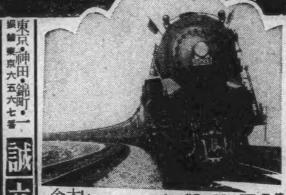
電話大九九八一番

滿洲日報

廣告部電話四四九一番

劃 軍機 製圖用品 H

天附錄付 年號



陸上 交通機關寫風帖

判りる 學の

タベタラ

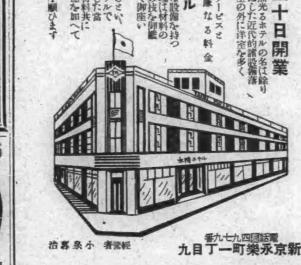
九三三年の棹尾を飾る

今年も是非御用命願ひます毎年御高評を得て居ります 一盛、重 詰



拾一月一十日開業にも解からい完備した近代的諸説構造にも解からい完備した近代的諸説構造にも近代的諸説構造





頭の疲勞懸點

品供提格破

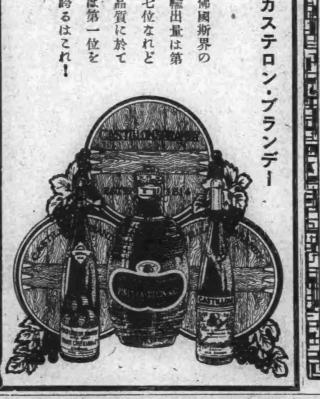
歳暮の御贈答に・お正月の御用今年最後の思ひ切った景品

A A A A A A

門松用新荷着案內

成るべく早目に・・・





歳暮御贈答品には



満毛百貨店。商品券

本店・分店・出張所・共通・











世界 (大々的の大見切) かんチャッカラッコ、銀狐、紅狐、カワウッ アストラカン、ショール、婦人毛皮オーバ、皮オーバ、男防寒オーバ、子供オーバ其他毛皮類 弊店の毛皮は全部純カムチャッカ産及び純シャッカをのであります。何卒御光來の程を御待ち致して居ります。

(77)

天機奉伺の決議案を可決す

を言

光榮の兩助産婦

梅林寺こう子(石)と

全市民の赤誠!

日

十六葉、八重、表菊の御紋章

宮内省で御調製

止三位動二等功五級 数仰附

御慶の謹記

所及び御館名の年月日等を最被と、御職の世界日、時、過

大連商議所

貧乏と闘ひ

『東京二十三日午後一時三十分御『東京二十三日安園通』島太后陸

皇太后陛下

要さんの喜び

責任 公果

二内親王様ご

お揃ひの祝膳

御滿悦の天皇陛下

き日を諦かせられ、こ

全く不思議なこさもあるもの。 日

足らず 精い 焼き なんし 家庭に

怖る」に

新食助の白朮素粉大物

「東京二十三日後岡道」陸軍では 陸軍の祝意

大子殿下神七夜の 職家野戦症破職な場げての親舎を表が見めばり様須賀章 場、豪謀本部前、日比谷公園等に現るのがの様須賀章 場、豪謀本部前、日比谷公園等に表子殿下神七夜の 職家野戦症破職隊の急遽破二十一次一般 五十歳、木 一概省を描くて続望の急遽破二十一次に対している。 **船飾を施し** 醴砲を發射 軍艦品川沖に回航

り眞心

一える春呼ぶ數々

縺る人の情け

四個五十段を二十三日大社會連和監修第一同は國防

の態題が行列は満石の二酸性

品質の優良さに於ても

値段の低廉さに於ても

商品の豊富さに於ても

浪華洋行で

十二月二十四日三日間 年一回のおつとめ特價に更に謝恩券付大費出し

林洋行の羊羮デ

廿四・廿五日前日午後六時より クリスマス晩餐舞踏會へ!!ソノ夜の第一歩は遼東ホテルの ジャス・バンド特別出演●盛澤山のブレセント 遼東ホテ



狂人的活氣をみせ 喜地の帝都 夜は旗提灯大行列

滿鐵社員

0

歳末の御買物は

岬命名式に先ち讀書鳴弦の式

執政の祝電

あらゆる御買物に

御滿足を願へるやう最善の

奉仕を捧げて居ります

出〇丁巨上大連大山

(権人) 四。五〇。。二五。〇 (権人) 四。五〇。。二五。〇 (関) 二。三五、。 () 二。三五、。 () 二。二五、。 () 二。八〇。。 一五、八〇。。 一五。八〇。

の観的シ

齊・けふ最後の福引デ

大賣出人

氣沸ノ

(七)

きのふの緊急市會

話佳の日のび慶

後でおぼしき和服器

高速度滋養料

東京日本権等三有田ドラッグ

お買取あれる文字あるものを

特約店

200五0年

to

共株式會社大連工場

シ

•

桑品販賣所

商品店

理研渍酒

青空ホテ

(77)

なるに

と御常用をお勸め致しますに老人・婦人・冷え性の方に

からも!

誰でも出

本常は、殺菌力、保温力、消炎性

小便の檢査で知れる

入れ時ださいふので血眼になっ

開共各一圓八十錢

る結果、他の薬店に一切取び出ドラツグの製剤は責任を

院医原網 一九二四社包









ニーヤも寒いだらる

院バケッを重たさうにさげてきま

その時、堂守りのニーヤが、不

で不能タアタア地上

不炭を入れるさ、蛇を鳴らさなけがサーへの手を進めながら片手で

ればならないので思いで出て行き

・丼、あのニーヤに何か

「何を買ってあげやうか?」

のこさや、プレセントのこさな話

未だ始めの館が鳴らないので、

「みんな早いな

表記



さいつて、新聞紙に包んだ煙花を

「いけない!

れいいつま

ーヤに渡しました。

何に?

ち又おさぎなしました。

でもさつておくわる」さいひなが

くれたのでした。

ニーヤは、何のこさかわからな

は減しく死んでしまひました。

美な著し上げること ます。際つた方が

ちが、お葬式をすませた、わさで

牧師さんや婦人會のなばさんた

した。新しい服を着た戦チャンた

実しいクリスマスの機になりま

王先生……でいいどやあないかし 「そんなら多端々々(ありがとう)

数チャンは進ん中に「多謝々々」

「小使さんで先生か

重話

日職等に教会に行って確認のお 言が降つてクリスマスが近づい 「僕も今さう思ってゐたんだよ。 うだせのもう七十以上だらう?」 「さうらしいれるそれに実たち一 あのニーヤー人ぼつちでかわいさ

話を聞いてゐる子供たちは、 遠しくてたまりません。

性といのです。けれざもニー いつじニコノ ヤンたちの似のものは一様に町 その日、日曜學校が終るさ、戦 してるました。

飲チャンが思ひだしたやうに申し う。あのニーヤ去年のお正月に、 一人で花火わげて暮んでゐたよ」

いお総督を買ひました。

切なものなぶれていらつしやる。

林檎でした

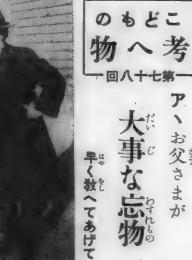
いつでも、お飲めにお出かけのさ

々さんさ書くかはりに先生と書く 早く就へてお上げなさい。わかつれへていらつしやるものですが。 い。正解者には二十名だけご 要美郷第一あてにハガキでお答へ下を 公園町滿洲日報社內一滿日日臘附

貨店の前に、立ち停りました。 相談しました。 「ニーヤだから支那町に行かう」 して、槍のやうにきれいてす。 町はクリスマスさお正月の黄出 月位したら、支那のお正月だら 皆は支那町に行つて、大きな百

けてみない?」 それ花火よ、一つあ ら、支那版に包んである、花火が小使室の押入れなめけてみました

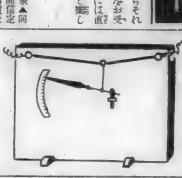
べんし頭を下げました。 ほんさに焼しさうにおし歌いて何 やがてブレセントださわかるさ。



第七十六回の答

てれまで楽し の方には直

こさが少いでせうか 一番熱ル数する 護するさ、ざれが一番よけいに ム線を闘の様につないで電流を



さ押ポタンなつないで押ポタン

らべ故障の脈を探し、

つもりだつたのに

田ata を表すの 実さんほんの な意味の おきますが





(7)およそ七百年間。

下品竹卸

(1) 明治十四年。

[63]

一の中に適當な

開端を電池につなぐさ針が下が る。その理由を述べなさい。

し鍋の様ないがのニクロム線の

科

ものであ

しますの熱を数する

(1) 三條實美 大久保利通

4

ふ物がやけにあら 買ふ気が起るね







前週の答

0

殿側を定む(同六年)

海精牽選(同二年)

の御客文

南南の役(同十年)

そつちに持つて

(1) 大政憲選さは、これまで、 中途で事所が天下の政をさつて あたのか、これからは、朝廷で

たのしい 事講習所で 大連の浦鐵家

皇にお選し申すこさである。

銀家事練智所ではこれまでの様に 楽しい事気を行ふこさになってあ 町、日出町、沙沙口の浦 十三日は午後一時から播 クラブ化粧品は積極的な萬人向御贈答品







使用语—80目 大 瓶—50鎖 小 瓶—30链 新 型—45键

肌へのお化粧に ヘチマコロン!



肌がアレます

歌「そのお職が立。 と言って見な

「俺が背負って立ってやる、早

るで観客の繋が叉暴騰

第四

十糯

子ツ

本期は支那古来の歴法に迷ふ精 で二十ス宿が衝撃して其日の では大利の歴法に迷ふ精

沒雨雨不拿不不下 有住住要傘穿穿雨 雲了了旱去雨鞋了 彩就要傘

H(v)

ツ(ウ)オは口なつぼめて配

發音上の

ちやアれえか、言つて見

御客様方

家庭滿洲語

全七

六克 金 四个

前

遇

の答

々御見物

申上げ率りま はござります に、歌右衛

急

マコンチ ツー笑いての戦み、ざんな事でも青い での総部連 は、戦まれては後へ退かれえ江戸 の野も ツチだ、日本一の戦右衛門が手な に

在がてこの機能の御職が の次第にござ

さた。 | 際人人を引奏無さ中し
っませの、他人は截ちす風老さ歌
っませの、他人は截ちす風老さ歌

教育、西部教育等の 所および満洲人大連 たが、これによりにたが、これによりに 的運動を開

木一种短升 水(短腐の味噌汁 大根の味噌汁

抜いけ

大新京計

施州側々都さして

八ツ頭ふくめ

期テーは有無常の二壁である星期の時に聴く戦いて出す位で

小に貨車繰りが間に合けては急激な出絶りた見たは

眼

六五〇二番 町/停留所中間 た医院

清凉な消え込み 軟度との な

なら定計ある

b

0. N-4

٤ ٤ 郎六田吉士博学医 長院 行洋摩志)二二町狭若希達大 苗三一八八話電

頭 [[亥 法 - 痰] 薬 里發伊連

プロチン發賣以來既に十有八年、今や鎮咳袪痰剤中の白眉として新藥界に これ本品は次の如き特長を有するためなり。

> 胃腸障碍その他の副作用を 有せず、應用安全なること…

氣味佳良にして服用容易な

咳嗽並に喀痰を伴ふ急性

適應症

(說明書進呈)

株式會社 三

松木木

伯知演

リドれいますやう、耽右衛門事神歌「御見物の御客様方骸く御鏡ま

「打切る法は、御衛康を願いま すな、久庭切 施扩大:

帝國議會召

前

回

町尻侍從武官來

第六十四融会は二十 て二十五日開院式なが、本議会は満洲事 が、本議会は満洲事

るさ、芝居氣のある部域は 尚熄まぬ

受けて歴史の手から武器を失った東 運動の一策さし

火を子演を引が暗汁 月 (納豆味噌汁 和茶、リンゴ 朝

大根で油場の煮つ ふろふき大根 よりの間焼き *

野菜サラダ

み

、 共方は日本一の名(中村) 大方は日本一の名(中村) ですれている。 大方は日本一の名(中村) ですれている。 ですれている。

() 三角地帶第三次討

/\rangle / \rangle / \rang

が変がに

奉祀電

米岡 規嫌

の如き御殿電影を可決し高歌を三十三日午前十時急速市会を召集、十三日午前十時急速市会を召集、

御麗は

し初の御對顔

けさ御産殿に

何可愛らしい初の御黙敵な遊ばさ に経典で新宮殿下に御姉宮さして、 に照宮孝宮順宮春内親王様方にも に照宮孝宮順宮春内親王様方にも

慶事に際して

皇太子に關する。

主なる法令

各皇族方さも御歌品の御贈答を遊覧の一折を賭けり、久瀬宮家から交魚一折を賭けり、久瀬宮家から

首相以下參內

教育機關等に對して

關東軍司令部

から御祝電

御殿神・紫及の電上方を清ふた、大臣及びスコーナー

社員會奉祝電

大臣及の人ご息太后宮大夫党電報と大臣及の人ご息太后宮大夫党電報と大夫党電報と

旅順市民か

変刈軍司令官より 皇國日本の 小磯參謀長謹話

誠忠天に通ず

謹話

前にして隣東軍小機多謀長は謹ん

御安産祈願の赤子

小説、女の都屋、不日休歌

慶び御滿足は如何ばかりかさ拜 皇后兩陛下並に皇太后陛下の御 皇后兩陛下並に皇太后陛下の御 謝外交部總長

教図通】療験首相

中の一変と率るだに長れ多い極みでありまし、 なります、申す近もなく學室の御 で、強て今日の御慶等を一日干 がの至威な以て前念と率り御期 で皇后陛下の御禮嫁益々職とく皇 で、強て今日の御慶等を一日干 第一條 皇族男女派六歳に達した る時より浦三十歳に至る十四ケ る時より浦三十歳に至る十四ケ る時より浦三十歳に至る十四ケ ので威な以て前が念と率り御期 ので、独て今日の御慶等を一日干 第一條 皇族男女派六歳に達した る時より浦三十歳に至る十四ケ る時より浦三十歳に至る十四ケ 年に達したる後陸軍及海軍の武十七條皇太子、皇太孫は浦十大軍軍を賜ふ

御影池署長

の謹話

平 .80 以上各種

(日曜日) 機能の後は廿三日午前十時から皇。がて光榮の を勝ふべき御能と疑視の御儀たる 記を頼命念、殿下河一年の湖守刀 せられたの

モーニングコートの御茶で御難見一れるを待たせられ、午前七時冊分 ているを待たせられ、午前七時冊分 て 附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行東宮ニ關スル事務ハ當分ノ內皇后宮壁皇室令第十一號 東宮事務主管御制定 管の件を御制定あらせられた 降誕最初 關スル事務主管ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム 八年十二月廿三日 當分皇后宮職 於テ之ヲ司 御儀式 に於て司る

の事務は電分の内皇后宮殿において之か撃弾せしむるを適震と認め、二十三日皇室令を以て左の如く東宮殿下に開 特殊意識に迷らせられる御願係上、御煙育以 「東京二十三日登國通」 警録首根 は午前八時四十八分参内と、御受 びさ天機さ・皇后陛下の御機・解同の の記載を爲と、鞭いて魔田外相以 の記載を爲と、鞭いて魔田外相以

宮内大臣

0

倉

平

皇室典範御

賜劍の御儀を行はせらる 内省でも萬歳を三唱 御祝品の

いて問題

側近者祝盃 御前において

ヤンベンを抜き御誕生か続す、宮 原電に下の河前で湯渡宮根、鈴木 に 天皇陛下の河前で湯渡宮根、鈴木 に 天皇陛下の河前で湯渡宮根、鈴木 に

限りなき慶びに浸りて

日滿要人の御祝辭言上と謹話

政の

継続日公使を通じ日本政府に概定 日東帝國皇太子殿下御陸謎の公表 に接し、満州國政府を代表し丁出 に接し、満州國政府を代表し丁出

を養する一片、駐浦大使館を訪ひ

小川大連市長

祝辭言上

國家祥瑞の源

0

齋藤首相謹話

を見太子に立てき を見太子に立てき で見太子に立てき

子殿下御降誕 は、 の政 を駆けるは給い皇太子の御校に のかせられる例であらせられた、 でかせられる例であらせられた、 でかせられる例であらせられた、 でかせられる例であらせられた、 でかれる例であらせられた、 でかれる例であらせられた、 でかれる例であらせられた、 でかれる例であらせられた、 でかれたことは、史書に記されて 第一般の御時拠王寛下を受ける 第一般の御時拠王寛下を受ける 第一般の御時拠王寛下を受ける 第一般の御時拠王寛下を受ける 第一般の御時拠王寛下を受ける 第一般の御時拠王寛下を受ける 第一般の御時拠王寛下を受ける

御時立太子の禮を行はせられ、明第十三條大大子式を駆げさせ給ふた御方に孝・続にして本子式を駆げさせ給ふた御方に孝・続にして、明第十三條中、大子式を駆けさせ給ふた御方に孝・続にして、第二條中、大子式を駆けさせ給ふた御方に孝・続にして、第二條中、大子式を駆けるという。 て立太子式を駆げられた御方もあ の御時で、反正天皇は御五十一歳 であらせられた、その他仰皇第に

第十六條 皇后。皇太子、皇太孫 第十六條 皇后。皇太子、皇太孫 全立つるさきは詔書を以て之な 第一條 皇太子を立つるの禮は勅旨に由り之を行ふ 国に由り之を行ふ 国内大臣之れを公告す 全 族 身位 令 事九條 皇太子、皇太孫は消七年 「達したる後大勉位に叙し瀬花 大田堂とたる後大勉位に叙し瀬花 うらる丸 二十四日任何

◆伊東欧二氏(両上計高等學校教 ・ 一型二日出帆ばいかる丸で内地へ ・ 一型の一型の一型の一型の一型の ・ 一型の一型の一型の ・ では、 ・

日間の大皇子御锋調 蛇角

昭和八年十二月廿三日の古辰、昭和八年十二月廿三日の古辰、 寒さだに懸多い魅みである。 楽は、各部・下の御事は、悪 歌上、泉辰、皇太辰三陛下

育しのにか響へん。 「自己のにか響へん。 「自己のにか響へん。 「自己のにか響へん。 「自己のにか響へん。 「自己のにか響へん。 「自己のにか響へん。 「自己のにか響へん。 「自己のにか響へん。

此の住日、繁六十五議 帝國為中國 竹の園生の媚葉え萬蔵、大日

江藤株式會社大連出張所

則り 嚴

來る廿九日御七夜に

小羅 倉紗 目的の財産を手に入れる保險令直ぐ確實に有利に手軽に *** 特別養老保險 司 してこの百人が遺族に何を遺 十五人……一時間らぬ亡 三十四人… 一に於ては 大十三人……誰に世に亡し 大連府信服町市場 電話四四番七番 統計し研究の結果は く立出でた百人に戦での 人生の競爭舞台に唯々し 適の恰片 多額の財産を 扶着を受ける 全務到所文具店書店百貨店廠了

三直和戦の夢びか代表して十三日 三直和戦の夢びか代表して十三日 を水子敷下御誕生逝ばされ誠に 慶復に堪へす、三萬前員か代表 慶復に堪へす、三萬前員か代表

上げ

る

連市民

寫眞上圖

外を手にして國旗を掲げる市民大連神社々頭でお祝ひの祈願下

छन

長官変刈大将を訪ふさ大称は いつもの笑鱗になほ

された御連報に對する新京校

湯淺宮相放送

關東軍司令部

⑥松竹梅竇出し

測量班襲はる 匪賊に滿洲國

萬歳を三唱

等の新京に慶び溢る

してころを知らの古戦を待ち殴けるれ、いて御鑑かな御屋敷をあげるれ、いて御鑑かな御屋敷をあげるれ、いて御鑑かな御屋敷をあげるといいている。

中 七時五十分、これより先本語が選けれて「伊藤で申上げる数が市中に溢れて「伊藤を持て」。 これより先本語が選り も にはれて買しき 説が市中に溢れて買しき 説が市中に溢れて買しき 説が市中に溢れる は、 で、よき 戦人たる 清洲 関人のみなら 間に 突された、この日 清洲の空は からなく 街頭に 撃された、この日 清洲の空は かっといく しゃく では かっという は でき でき かっという は いっという は いっといい は いっという は いっといい は いっという は いっという は いっという は いっという は いっという は いっといいう は いっといい に は いっという は いっ

満鐵は午後休み 今夜の家族忘年會でお祝ひ

れ、出動して胎戯はお自出たうな 上部く大日歌族を探げて繋びに迎 再役回じ正副級銀以下ほとんご全皇太子御生誕の駅、満蹶本訛は棲 突換して早くもお正月が來たやう

n

滿洲國

の暦では

ふは

"

菱刈軍司令官謹話

日御命名式幣日旅行列で来脱変を | る管である | 日御命名式幣日旅行列で来脱変を | 日御命名式幣日旅行列で来脱変を | 日御命名式幣日旅行列で来脱変を | 日御命名式幣日旅行列で来脱変を | 日本の日に大連の各 中盛大に能すここを申合せると共に市ぶべくは下除食中の可食に午後二十年が、大くは下除食中の可食に午後二十年の一般に大きな中島の変貌に愛せの暮びを申述

なほ二十三日は午後六時中よりの旨の通告が養せられた。

根拠が金融内で交された 一、二十九日午 ・監融・御日出版の教書 ・登録の一個日出版の教書 ・ 日本申込むこ

い体お持ちの方も植ゑて差上

時間延長 三十

日日

十一時半まで

対金山村さの中間に於て湖洲國際 中突如便前不明の数十名の照號に 中突如便前不明の数十名の照號に 中突如便前不明の数十名の照號に かにして戦速し十日夜チチハ

只今一

全館歳の市大費出し中

八氣は高

全商品にこも

升る朝日と共に

御贈答品特

羊

れるは視聴するもりでし、流れるは視聴すば気を出すべく図家の前に

正月は勝又の高級既製品で大き

か交子難はいたる によって埋められ のである。

を見には風かが歌場されを歌に来るの他の打ち鳴らす汽流に沸き返り での便な歌をお祝ひ朝上げてゐる に寒歌の歌或をお祝ひ朝上げてゐる に寒歌の歌或をお祝ひ朝上げてゐる 大子殿下海際歌をお祝ひ朝上げてゐる 大子殿下海流波をおれる。 機能・機能を提げて撃帆中の報に當地全市裏びに沸騰さ

けさ質屋に

これも勝又自慢の一のオーバー 只今 稿引附歳春大賣出し中 新新の秤を極めたる 背 廣 おくつろぎの和服の節のトン ビ めてやかに美しき滞行の 婦人 コート

三日午前九時五十五分市内大黒町では、一十十二十五分市内大黒町 拳銃で脅迫、

三日午前九時五十五分刊とこれ、八三十番地震解御前屋に二十七、八三十番地震解御前屋に二十七、八蛇をイブの日本人が現れ閉められたが観響を見せて置いたい」

ノリスマス装飾用品と 用品

御命名式 谷代表協議會で決定 ル日

旗行列

は据るしく緩和

てゐるが、大連市では早逝二十三 では早くも御慶職線分につ・まれ 天津日嗣の親王殿下御降暖に市中

全滿に歡聲漲る

奉 天

・ 子御戦略の戦が 中職されるや金 新京中央が渋川

に國族を認 中以上の生徒五百餘名参加の等で 中以上の生徒五百餘名参加の等で 中以上の生徒五百餘名参加の等で

遭難船員歸る

號號號 號 特 小中大大

一圓四十五三

錢錢錢錢

浪速野

船客の婦人に 五日経験神で無勢中吹きのため、五日経験神で無勢中吹きのためは、一角間でく

芝罘置籍船有利號で 貴重品を強奪して更に陰謀

悠關長暴行

北西の風







才

中西家太郎

肺粘

行、治然心清算機械

發生器

勉强致します

ら是非

迎春の

堂

電大四七

街三回三五

▶都屋を装ふカーテン

又賀客のためのテーブル掛

(只今。 編引附大資出し中)

今年の流行品取揃 御贈答にも好適

はいととしているという。日日という 忘年會及新年宴會は すきやき會席、一品料理 に御申附願ます 謹みて 御降誕を慶福し奉る 御降誕を慶福し奉る

一度御覧下さい、此の暮の連鎖街各店の商 の暮の連鎖街各店の商品、 值的 サ

Fo ス振りを



歌びのみちみちた 4 正月が ,袋 日 服飾品を豊富に取揃へて居りま .50-¥ 4.00 カラー シングル……¥ 0.30 ソフト……¥ 0.25—¥ 0.85 豊富に取揃へて居ります カフス朗…… ¥ 50~¥ 1950 ラクダ製……¥ 12-50—¥ 40,00 組 製……¥ 0,00—¥ 1.80 純 毛……¥ 0,50—¥ 2,50

(中国的共享的第三条)

江

(296)

鹽

中へ斬り滞された。

2

用

6 時

B

¥ 2.50

¥ 1,50

A演御殿 CIID

・裏絹・名古屋帯・コ 9 夜具地座布團

進は

升升升洋

十十十二七七九五

中町(三日月湯前)

胸政府は十一月二十日附勅令を一二

和蘭政府が

家畜輸入割

早川混保主任談

倫敦銀協定批 准報をも入れ

目

錢釗市場

米國の銀協定批准

於いて
を見た、今年度の混保標準大豆が
ではたのごさくである
では、一个出題年度の混保大豆のでは、ことに
よび混保開始以来の規格での比
では、一个出題年度の混保大豆のでは、ことに
よび混保開始以来の規格での比

記録破りの多数出席

無條件攝取は考もの

但强材料に相違ない

西正金支店支配人語る

出來高六百萬

株式、 錢鈔一

は極めて明鵬さなり、种喰一巡後は庭に稱識見越らの影響とあるから、二日間の休日を探へ質方の利喰ひ急ぎもありむ百七十二、三個家の安解保合から百七十七、八個家さ

人手筋優勢買 豆粕廿五萬賣買

どん法採用 明年二月から

大豆混保查定會議

概ね原案決定

移民地ごしての 拉。濱。沿。線 豐饒の地で最も適地 では、大品が物質に供給せらる、こさに、 ・土蛇、せられるさいふ工合に皮比様のつ ・土蛇、せられるさいふ工合に皮比様のつ ・土蛇、せられるさいふ工合に皮比様のつ ・大木で、大田の黎町は控電が場からださま



株 六十一圓十段

海外銀塊高で海外銀塊高で大物十六分三高、盃買十六分の十二高、米支一場大分の十一高、米支一場工作局高、米日二五他高、蔣水百島、米田二五他高、蔣水百島、米田二五他高、蔣水百島、米田二五他高、蔣水百島、米田二五他高、蔣水百島、米田二五他高、蔣水百島、

逐月軟調の商狀を辿る

奥年回顧 支那の高率關稅で 激減を見た粕と油

對する高橋戦相の意見

廣泅

の買に

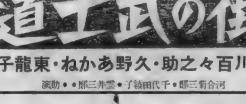






大納會決定





辰村、思想問題等で

痛烈な論戦展開か

議會休會明けの形勢

來る廿六日閣議に

民政黨役員會

大しく待望した御慶事が と調査政治のために視縁してゐる 変んだ、また、 食糧なぎはこれに比 しのもあり、非潔時などはこれで 一を成っているものがある、殊に ちてゐる、かくて議会は解説さら ないので撃撃と 各級の控察は頭かな聴脱気分に流 してゐたが、 ちてゐるしのがある、殊に ちてゐる、かくて議会は解説さら ないので撃撃と してゐるしのがある、殊に ちてゐる、かくて議会は解説さら ないので撃撃と してゐるしのがある、殊に ちてゐる、かくて議会は解説さら ないので撃撃と してゐるしまって解した。また、

ふの議會召集日

廿六日午前貴院にて

迪らず

形骸のみ持越す

明年度撫順炭の

協定交涉

近く石炭聯合會開始

人部隊衝突は

週間後

公安週報等の硝子は目茶々々に粉を投び公安局、騰達等、鴨浦等、中反動派は窓に大津公安局に帰郷

天津公安局の

滿洲大豆の増收と豆粕相場生糸需給の最近

福建淅江省境風雲急

便衣軍現はる

さく地勢の関係から 記憶へられるが未 でした。 の関係から

「香港二十二日登岡道」孫朴氏は で全見一郎中央さの合作を結派人 京を促し午後四時都去魔東より続い 京を促し午後四時都去魔東より続い 京を促し午後四時都去魔東より続い 京を促し午後四時都去魔東より続い 京を促し午後四時都去魔東より続い

孔祥熙財政策

一選返には協定成立にまで清きつ際に入つてゐる日即食敵は一月繁

雜貨關稅改正

孫胡會見

以友主力を前衞に

徑路選擇滿鐵の自由

大連、北鮮廻りを同一

陳濟棠氏狙擊

あり、「大倉金庫」に御留意を乞弊店類似の名稱を冠せる金

「大倉金庫」に御留意を乞ふ

立今後は外人間の訴訟事が 外患権な一方的に影響する が表情な一方的に影響する 良より二十一日意東北要人に「米天電話」瞬間の途にある 舊東北栗人に 學良打電

駐露米大使 日数問題】本



台省會議を開かず 倆鐵改組案片で ずに騒ぐ

東亞民族文化

見を語る

福建政府治外 法權撤廢聲明

『東京二十二日爱國通』外移省調 首部製器に伴ふ官舗歌正家を審議 イベーを構作報等委項書気を前十時 樞府審查通過

紀で、小柳、藤村博士その他

日数食式を果

協會發會式

W著な目指す東亞認 ・十三日養國通」東亞
ホ

カ

支那緞通の特別出品あり

藤田(電六八一九)

畫正札陳列會

忘年學

當二十三日 大連商工會議所樓上二十三日、二十四日兩日間

不運不幸問

高島胤卿先生 定應需 高島派易斷總本部

太陽レヨの計畫は樂富の計畫は樂

定評ある

M P Å

建設事務所長

御贈答用

是位に即かせられるのと御局

至誠天に通ず

永井拓相の慶祝謹話

は在年前は一間を代表二十三日午暮ばしき報に接し戦谷事天徳鎮事

削減の報

めればならののだが、此方面では うしても政治で教育に防止性を形断ぎ切れぬはいふまでもないるご

驚く關

清水社課

長上京

満洲國の民衆も

しく慶祝

林總裁謹話

遠藤總務廳長謹話

御降誕を壽ぎ奉りて

生れながらにましくてで語みて抜するに、皇長男子

投資税附加税其他

關東州廳に勅任知事

会員、運賃値下げを要認した 会員、運賃値下げを要認した 会員、運賃値下げを要認した 会話された大豆は通常な様の上ルディ北端 銀行を指定して農業 銀行を指定して農業 銀行を指定して農業 銀行を指定して農業 銀行を指定して農業 の下にバンドウラ融理事長代理に 委託された大豆は通

市政擴充案大綱可決

廿二日大連市會全員協議會

歐亞連絡貨物の

保稅輸送具體案

満鐵、

満洲國側に

提示

北鐵蘇聯幹部に

運賃値下を要望

哈市經濟團體から

三時半から株主機會な開き本年

村上理事赴鮮により

本天代表者會議

分か以て、鳴鷹和るに曙なんさ ち奉つて居た所であるが、東電 の御雲がの日を指折す■へて待

そ一回隆隆の期に際するや、そ 」 る。そのうち最も感動の情に堪その慶兆決して後少でない。凡 」 さして 天佑 を廣彼し 給ふた見 満鮮鐵道の

強り、切にこの趣旨の深遠なる

税闕の課税

◆私の就愛する友人は内地より来

り同時に二個送りましたが其後に個の前記同樣物根薄膜を内地よ

市

况(井川山)

當市も昇騰

ホワイトホース

大豆聢り

五品株主總會

年五分配決定

お正月の

年末年首の

是他七五圓

定價五〇圓

御進物用に

とういとにより言うないとうではいいないというにはいい 定復四五一號工工圓

定價八〇圓

定價・八〇圓

の職大内山の内外 ラデオ放送で飲味

淵發明協會創立

豆 油 一 四〇 一 四〇 出來高 三萬枚 出來高 三萬枚 一 四〇 一 四〇 九二〇 九二〇

座ぶと

十五菱金音楽、蛇ぶの手観が事務 「、如何なる自出たぶりを減すか は来年になってから▲を関に渡っ 所まで行き渡つてゐる、司法の職 材料薄で

恩の爲正札一割より二割引 類歲末大賣出

毛皮の御用は多少に不拘品物に絕對責任を持つ弊店で在庫品山積、銀狐、栗鼠高級品、荒毛付き獺、豐富新入荷 返品、返金御自由はモットー

露西亞毛皮貿易商會

今宵のダンス 同じ踊るなら

浮世の

オード 番音器 二五圓

軍三七六〇番

一十日ヨリ

一日マデ

門松ごお飾り

事務 がに行事を行ふさ形にて、お飾りをしお継者を願くされて、お飾りをしお継者を願くされる

一夜飾りはいけません

ち生活改善かはかり手を含いて式ばかりの感覚になります。い

すご売館脚販師は生活が指載されらに据て鑑力し気力し衰へ勝ち、な生活をしてぬる家庭でも來密やか一番多いのです。お正月は四六冬休、みに限りませんが展しれ、繋科の後替し意り勝ちにはり一です。ここに年末年始はごこの彩

ひのないものになります。門松のそれはまこさに情味の足りない潤

食が驚まである今の他の中を考へておいた路く智恨もありますが続

かに触るにはこの上

五五•四五四• 八五•金八七• 歩性•左銀銀•

い竹梅を添へ注連種を展

たかけてむす

五日間のお休みですが、このを休み中のお子たちの数百に就て慰疫師から家庭に對する希

た。今年は二十四日が日曜、二十五日が採日と二日のオマケがついてお正月の七日

ちのほに、そして一家の健康の で版やかでは子供につてなかし でのかれますまい。大事なお子

夜具の裏地

令柳木吳服后

早起は多の良いことは離

数との楽しい歌をのせて子供等の待ちこがれたを休

L

い多体みが来ました

せたりすることがあります。敷替に悪い物情をつけたり敷をこわさ

惡習慣を矯めるに

もよい機會

要がわりませう。日識なつけ間の名が無なつけて挟けてや

ひかさせて頂きたい

學校側から家庭へ

日

光

築の繭

御乳

奉

野口善子(上)進藤はな(上)兩女史

畏し兩陛下の御慈愛 重範の御定めにより、 滿神 て避かに晴れの弾像を駆けさせて避かに晴れの弾像を乗に登所大前におかせられ 御儀を終へさせらる

製なる御屋盤に渡らせられます。 また東宮とも申上げ長くもし、また東宮とも申上げ長くも

より、光輝ある皇位を御職があく帝國派法に定り離ふさころに

柳贈答句言 品揃 ▲午前六島冊分 ラチュ ▲午前七時 ラヂオ糖操第一 ▲午前十時 レコード ※演一回順三展記―第五日「昭 港演一回順三展記―第五日「昭 本年に於ける關東軍の行動なる。

智慎を養はせるのに智や自立自然の

八」上澤謙二 鬼京より) お

識新棋點

京

を

思

た時の日本依に を開発者し、折った東京を知

るす

果株取引

亂の

スの

經濟學

大

建獨立の

と動向

K

御養育 をくだかせ給ひ、 要き御旨下におかせられても一入大し海婆宮根、 館木侍後長、 だかせ給ふ 院教大手合戦譜

九九八八ワナーハハハワナーハハハワナーハハハワナー四六ハワナー四六

__[8]__

利四段整澤原之明

▽讀んで面白い年報 ▽世四年への展望 ▽卅三年度の綜合品

年で折々藤田嗣治

懸員 小山いと子

)大森義太郎 論

政界の抱負 白 た高の度率。 を続いその重味) 谷崎間 質働を振び順志) 谷崎間 局政治觀

增井幸雄

波多野乾一 弘雄

具論の社會性と反社會性(答·その政治的動力性、更にその限界ににまでせんた大論文)…長谷川如是開展論の社會性と反社會性(哲令東西の風機例に就させら興論の成立から就き起しそのべ)…長谷川如是開 国は沒落するか? 後の郡盟の賜實? 更に断盟存否の是非 のの途離も許さず。決した。 人 題と内政改革等が、辿り、それを清解なる 横田喜三郎 方成美

さ典に飛ぎ続りを告げたが能激励 さし又縁破日本続は自添振を聴逐を捧ての紫秋の取引も歌浮線次、遊を突吸し七百萬段繁に郷塗せ『臺天』略和八年度における繁日 | 霊被の康想通り昨年度の四百萬

止の方法さして遺画議

日

營口の麥粉取引

七百萬袋臺に垂んとす

調査班出發す

好意に

農作物、家畜の優良種を供給

奉天省で開く

小口物までとは 二、九七、九〇二、七二〇

取敢ず満鐵に請願

特産物の輸出手續きにつき

銀盤 に踊る姿

歌原探算がされて繋着は忠智・曹操に撃さついある状態である 国五十段だったが小洋五國四十段 常花生間は百石から多いのになる 内難出蒙花生は健来在壁り小常六 徳の歴想訳み郷で簡内二十七月の 内難出蒙花生は健来在壁り小常六 徳の歴想訳み郷で簡内二十七月の

傷病兵を慰問

貸下げ狀況 本年中では唯の八件

奉天鐵西工業地

娛樂品 國鐵各線に

らだが今回冬季の歌数方法さし

列車中に 天然痘患者

營口小學校スケート場結氷し

兒童等嬉々と戯る

攸間は密輸入

白晝は賭博

瓦房店切つての親分

復縣警務局で檢學

こことで大人小兒 な順ぎである とことで大人小兒 な順ぎである とことで大人小兒 な順ぎである とことで表します。 ないのでは、これでは、一大人小兒 ないのでは、これでは、一大人から、 できに、 できないのでは、 これでは、 できないのでは、 これでは、 できないのでは、 これでは、 できないのでは、 これでは、 これ を繁見直に炭東事務所に救容」
炭東鉄州車に於て満人天然徐 炭東鉄州車に於て満人天然徐

公主嶺で開く

スの木渡り

手のあらし

華やかな児童學藝會

東市 年後六時無数を勝らした公會室に 東市 午後六時無数を勝らした公會室に 東市 午後六時無数を勝らした公會室に 東市 午後六時無数を勝らした公會室に かた。 東市 午後六時無数を勝らした公會室に かた。 東市 午後六時一段を勝ちした公會室に かた。 東京 中央 できる。 東京 中央 でき

贈答品の小

荷物便扱ひ

取締りが要照されるやうになった。「傾向があり一般増加のやうになった 鐵道○○隊

午前十時半春の味定のさころ途中 動してるた郷道○○除は二十二日

なった。今回の受量者は二十二て有功章接換式か事行するがさ 等行する 領さ

▲大島町五芹海喜三郎氏(五九)は 名でわるさ

一手の家庭常備薬!

い。良く効きます。
心險信號です、早く

十二日鐵嶺着

地域院及び海軍要激部病院に贈り 地域院及び海軍要激部病院に贈り 地域での動性を続けて居り今時に本年 代表しい間金及のい間にない日下 一時調節是安藤北子女史及が日下 一時調節是安藤北子女史及が日下 一時調節是安藤北子女史及が日下 で表しい。 活動を減殺し、鈍病及び劇痛は短時間内に消退す。 局所に展布するのみで忠部に深く凌遠し、病菌の 外用薬ープラピア る実快さを得せしむ。 **し得ざる場合、テラピアにより** 夜間に劇痛を訴へ、ために安眠 療法り熟眠を得せしめ、 後の減少を見ることを得る。 してテラピア展布により自覺的に非常な 胸部に苦悶が起きたりすることがしたり、食慾を失つたり、頭重や 對に起らないのが特長で、小へても、かやうな後作用が絶 甘く、小兒は喜んで される所以です。 見鎭咳劑として、第一に賞用 は異り如何に虚弱な見重に異 チミツシンは馴性の袪痰劑と ものです。 有り勝ちです。反つて仕来が悪い その味は、蜜の如く 小兒鎭咳劑の 肺氣管支炎 第一に撰ばれる? チール酸グアヤコール割 東京・大阪田邊商店

内ものになるのは:

成金夢反映 て?

地團駄踏む警察

大洋二千餘圓を强奪逃走

第14年 | 三日午前九時より歳養で皇産學会 がかく、 12年 | 12年

が見るべきものあり、日流線和のの歌歌情報を集め見電機なるだけ父兄保護者 惡事を働く 店員

廿三日熊岳城公學校

の知う数 工工園といふ密査を致行してある (職者) まで七名の多きに達し、しからそ 国) は既の助扱いを開始して観光に無対しているので、第うして東天理でした。 まで七名の多きに達し、しからそ 国)まで受付時間は何時でも受付、 大概さには依頼した東天理でした。 までよ名の多きに達し、しからそ 国)まで受付時間は何時でも受付、 いてある、新方して東天理でした。 までよ名の多きに達し、しからそ 国)まで受付時間は何時でも受付 「一日」 など、 のが及び上近 (総十三世) はでしてある。 新方して東天理の手に つたやうこれをなしそれが定して受けた。 このでは、 一日) など、 のがと、 のがと、 のがと、 のがと、 のがと、 のがと、 このでは、 のがと、 のがと、 このでは、 のがと、 のがと、 のがと、 このでは、 のがと、 このでは、 のがと、 このでは、 このでは、



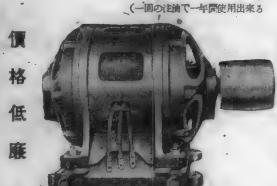
特關東約州

電話(七九八一番

大連市丹後町二十五番地

頭の疲勞驟

特許密封ペヤリング付 (一回の注油で一年間使用出来る



リンゴ・ミカ

販 賣

量機製圖 6 内面

日 年號



皿正

盛、重 詰

盛、

今年も是非御用命願ひます毎年御高評を得て居ります

特事□▽一等巡洋艦那智

那智模型の とその とその 月

廣告部電話四四九

奥地の御注文は 奥地の御注文は



和 九目丁一町樂永京新



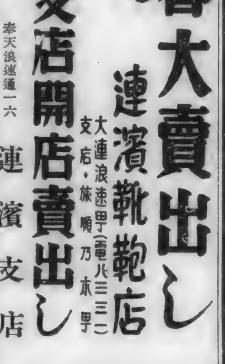


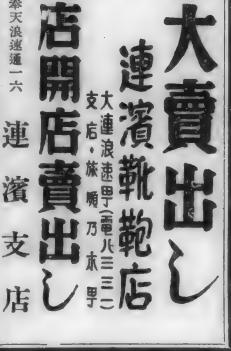
醫院



九三三年の棹尾を飾る 滅幕景品 **歳暮の御贈答に・お正月の御用** 合年最後の思ひ切つた景品

便利 □其 他 實 用 □ な 通 商 HI









満毛百貨店。商品券

本店•分店•出張所。共通•







100 E

ざ

本年掉尾大奉仕

切





題につき 鏡泊學園問

堀切音文氏談

御誕生奉釈祭が盛大に撃

である。

で全市民歓びの大旗行列

廿九日新京の催

歡喜ご感激のルツボ

執政の祝雷

使其の他に打電通過した

大連商議所

養護所では二十三日午後三般下海綿漑の吉報に對し大

に通達

在外大公使

十六葉、八枝、表菊の御紋章

宮内省で御調製

部間書館で集に直に御名、御郷と七日李出度を御黙名の御館名式 是統譜に 御慶の謹記

順東軍では

方を遙拜

数びの官民参列して

きのふ奉天の奉告祭

「「「「「「「「」」」」」」。 いったい しきずのついがない しきずのついがない

その日の新京の奉祀 支那の三國本マニラで

に日本館の参加 怖る」に

てゐる等関係してゐ

足らず オンカリて

糖はないなし



傷病兵慰問金

である。人「日本

問の劍舞行脚

滿

唯在

子さんの姉妹が

さす

梅林寺こう子(石)と 塊を密輸

光榮の兩助産婦

(可認物便多種三條)。

命名式に先ち讀書鳴弦の式

備除活動の末逮捕

聯合練習會

れたが、長井會長の折角の面倒を 水上競技職盟ホッケー

奉仕を捧げて居ります

棒稼ぎ

市内徘徊中を捕る

困り者の二少年

十二月二十四日三日間

林洋行の羊羮デ

年一回のおつとめ特價に更に謝恩券付大賣出し

という。 は場句大・登崩一を納取ればりもや大 に場句大・登崩一を納取ればりもや大 でいる。 でいまればりもや大 でいまる。 でいる。 でい。

代表者會議で日本が 大オリムピック大會の 方支持する

國参加を

の貨座敷業

見立 ― 注文 ― 特價品各種 解は魔児 只会よりこのプロセスを以て正明今よりこのプロセスを以て正明を入り、オーバー、婦人コート、場合ののの。 豊富に

型話ニー九八五典町検番前 を行うことには、ことには、これできることには、 0

廿四・廿五日廟日午後六時より クリスマス晩餐舞踏會へ!!ソノ夜の第一歩は遼東ホテルの

ンド特別出演●盛澤山のプレセント●



新住宅建設

沿線各地に

商品の豐富さに於ても 品質の優良さに於ても 値段の低廉さに於ても 御買物は 浪華洋行

あらゆる御買物に

御滿足を願へるやう最善の

背廣、オーバー、婦人コート、モーニング、和服用トンビ勝又の旣製品あるのみ。豐富に陳列、御選擇A好みのまし。

只今 福引附歳 華大賣出し中

只今よりこのプロセスを以て正月のお召しに間に合ふ洋服は

仕立

品

い。これにいている。

A STANSON IN

連銷街

式會拉大連工場 品販賣所

シ

理研渍酒

青空ホ

(77)

でも出

査で知れる



東京日本橋鴻三 十 發 費 元 —

有田ドラッグ

お買取あれの文字あつものを



西西

商二香





田や回ヲヨクミデ

シメニ

文丁

ココへ

デキマシタラ

アウレラ

アウムか

マルーデス

(ヨノヤウニトマラセテ

ハルト

のノヤウナ

トコロララッテノリョッケテ

0/

テンセンノ

カョウシン ウッシテ

カウスイヤミニコノ

アラウツシテ

カヨウシハンデモヨイデス

とヨックコ

ヨコエフクジラウ

ルセントあげない?」いつも點

り、片付けたり、ストーヴをたい

日曜毎に、潮山の椅子を残べた

「何を買ってあげやうか?」

既バケッな理ださうにさげてきま

その時、堂守りのニーヤが、在

不能タアタア進上

続い

平校

石炭な人れるさ、鍵を鳴らさなけ

一の手を進めながら片手で

糖いな

1 =-

も恋いだらうりこ

ればならないので思いで出て行き

のこさや、プレセントのこさを話してクリスマスの晩にする黙話劇

MC

あってるました。

動が降つてクリスマスが近づい

「関も今を

統立しくてたまりません。

未だ始めの鐘が鳴らないので、 十二月初めの日曜日でした。



って、小使室に行きました。

らはお脱びの始まる前に煙花を持らた。新しい服を着た熨チャンた

さいつて、新聞紙に包んだ煙花な

「いけないっ

たいいつま

第七十六回の答へは くれたのでした。情

れブレセン

ニーヤに渡しました。

ら又おじずなしました。

てくださいました

有機うござい

ます。間つた方が多かつたので級

らさつておくある」さいひなが

ニーヤは、何のこさかわからな

牧師さんや婦人會のをばさんた

それからしばらくたつてニーヤ

美な差し上げることにしました。

小便窓の押入れなわけてみました。あまで

左の肩に王先生で書きました。

数チャンは真ん中に「多謝々々」

樂しいクリ

スマスの晩になりま

「そんなら多菌々々(わりがごう)

っていいじやわないかし

「小使さんで先生か

童話

うだぜのもう七十以上だらう?」 年中さても世話になってゐる人だ。チャンたちの組のものは一緒に町 「さうらしいれるそれに僕たち一 あのニーヤー人ぼつちでかわいさ う思ってゐたんだよ。 性といのです。けれざもニー いつもニコノ その日、日曜學校が終るさ、野 てるました。

う。あのニーヤ出年のお正月に、 貨店の前に、立ち停りました。 般チャンが思いだしたやうに呼し 「あい 一人で花火のげて喜んでゐたよ」 情は支那町に行つて、大きな百 位したら、支那のお正月だら 花火はごう

つて、東になった赤い花火さ、長いたよ」皆驚成でたので雑貨屋に入 いお練香を買いました。

いって 切なものなぶれていらつしやる。 お交さまはずましてお出かけにな

呼んでゐるから王先生でいいんだ

きには必ず御本や書類を入れて、

い、お飲めにお出かけのさ

々さんで満くかはりに先生で得く 「何がおかしいんだ、支那人は何 しみんなごし いの正解者には二十名だけご要美郷祭」あてにハガキでお答へ下さ 早く我へてお上げなさい。わかつ 公園町滿洲日報社內「滿日日曜附 日までに大連市東

相談しました。 して、櫓のやうにきれいです。 「ニーヤだから支那町に行かう」 町はクリスマスでお正月の質出 ほんさに嫁しさうにおし歌いて何いのでボカーンさしてゐましたがい げてみない?」 べんも頭を下げま

それ花火よ、一つあ

ら、支那服に包んである、花火が

出てきました。

0 大事な忘物 お父さまが

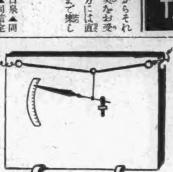
早く教へてあげて 通知のハガキな

け取りください。強 接お送りしますから 治療の方には直 それまで楽し

○□極く細い網線・緻線・ 通するさ、ごれが一番よけいに 熱な数しざれが一番熱な数す ム線を間の様につないで電流を

らべ故障の點を探

第七十六回の答 林檎でした



(五)次の間のやうな電鈴に、

口口によって遠ひます。 競します。 熱な数する最はA

(5) 木戸孝允

(4)大久保利

な盛に押して見ますがごうして も電給は鳴りません。 故障は電 (1) 昔は大和の圏な中心さ (3) 東京=明治天皇

電鈴の幽な 鳴るや

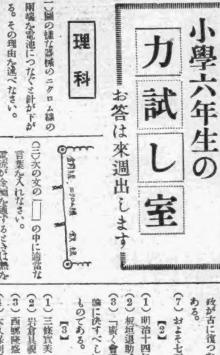
(1) 大化の政新 (紀元一三)

(2) 武家政治はじまる(紀元一

(2) 西鄉隆盛







理

科

(3)「廣く會議を興じ (7)およそ七百年間。

ひつばなし

一に進物だ。まさか

質ふ気が起るねい

景気をつけ

無成が出來ると

形品力即

論に決すべし」この聖旨による

政が古に復つた」さいつたので「王



0

によるない。 年の際は何をする

くのも裏口水第

の方が像く

が厳由い意識、舞踊、唱歌などを観選工場クラブで記見所の子たら クラブ化粧品は積極的な萬人向御贈答品 コリアどうも男には解らない。 できる。で見ない。 たも独は表面的な節り たも独は表面的な節り でこに美の養種とは複本的な美容素 でこに美の養種とは複本的な美容素 でこに美の養種とは複本的な美容素 流石にあの集さんは偉い、此の狐は 男には解らない

般チャンに話かけました。 サアミナサンヤンテ カヨウシレハサミト てとがアレバコイ 0 たり、お撮除なしたり… それは グランナサイ り織に包んで、据つてゐる歌チャー那許のうまい子が、けんくり既で ココヘアナヲアケテ

オ正月ハマダ

I

0

(2) 潴藉奉還(同二年)

五箇條の御質文(明治元

北自川宮能久親王

製料を定む(同五年)

西南の役(同十年)

クラブの進物で

だつて毛皮には

を持方が

ナカくコナ



前週の答

(10) 下ノ關條約(同二十八年)

孤より其方が

好いのですか

(9)第一回帝國議會(同二十三

中途で幕府が天下の政をさつて (2) 土佐の前藩主山内豊信さ 政をおさりになるやうにさ、天 山内豊信さそ

(3) 紀元二五二七年(慶應三年)の家臣後継象二郎。

御神勅によつて、天皇仰みづか (6) 我が國の政は、天照大神の ます。二十三日は午後一時から樹 観楽事識智所ではこれまでの標に 大連播磨町、日出町、沙河口の浦

たのしい 大連の滿鐵家 事講習所で 失き差のですから ですから ですから

時からは日出町職智所内託兒所で 殷町の練習所内記見所で、午後六 二十四日は午後六時から沙河口の





・戦右衛門は百事を措い、戦右衛門は百事を接い差送り

まで、対きましては既右衛門その御 す、就きましては既右衛門その御 す。就きましては既右衛門その御 すっまでいます」

「だしだ、人は受けた思を忘れ

第

四

+

ティンエヌ

子

子》

知りられえがは大雅へだ早く他のて助けてやれ、おまへの縁つて来る途に力を得ってやる。縁に心脈いたかまへの縁つて来る途にかがいた。 だりせつて来い、乃公が承にないた。 おもんの小屋の中で一人で

これに控へ居り

数なられなったり

マアれえか、晋つて見一やう、不能歌三郎よ

さ言って服人は異家へ頭を掛りつ

、酸白い、総ちば一季のいたして申調仕ります」

中村総石御門に被下りで発展町中村総石御門なりをして、花の上野製の石碑(東の上野製の石碑(東のおりませ、上手の子後に坊太上でのて観客の反抗心を買い、ためりである。 これが大磯りである。 これが、鶴り僧味が神き過ぎて総りて、これが、一般りでは、これが、一般りでは、これが、一般の上で、一体の上で、一体の上で、一般の上で、一般の上で、一般の一体の上で、一般の上で、一般の上で、一般の上で、一般の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の上で、一般の一体の一体の上で、一般の一体の上で、一体の一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体のしで、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体のしで、一体の上で、一体の上で、一体の上で、一体のは、一体のしいで、一体のしいで、一体のしで、一体のしで、一体のしいで、一体のし

に一部と続きこころ、抗好く要職の力に、方が治り合せ、名響さ名樂の力に、 名響さ名樂の力に

日さは平土間の仕切の様です)花道の壁い若者は衣娘の瞬肌を脱ったがあり、ませい取りくませい取りくませい取りくませい。

3

でのうなでは、直後にCオンコロをでのうなでは、直後にCオンコロを

發音上の注意

日

おり

カる。此時に中村既右衛門。 御見物の情報。 一座高端機

れざ、歌右衛

長袖者の為す

口上だらう

の歌が強えた

京都式の風雅の原物が、 日は此の

の完整を表して、その前に中村・大学を表して、後方は金銭店である。 後方は金銭店 「それでは私も親方さ一緒に御

ヨンさ拍子木を二つ入れ、スーツ 一突いての概み、ごんな事でも背いたでは中村玉融紀の敷名の斡部連 は、概まれては後へ退かれた江戸株姿、 白麗を前に置いて座し、下 (「何んだく)その概みさいふの株姿、 白麗を前に置いて座し、下 (「何んだく)その概みさいふの株を変、 白麗を前に置いて座し、下 (何んだく) その概みさいふの株を変、 白麗を育じなる。

言葉に從ひ美

衣類の裾

世でないか。如何程律の共参を割けないか。如何程律の共参を割けないか。如何程律の共参を割けない。 て瞬りましても郷上仕ります。今 有衛門さの仲は又格別頼頼さ申しりませね、他人は乗らす愚老さ歌

おらう、久厳・辺然これは戦場で たしたが磐高の轄脈は未だ一見も たしたが磐高の轄脈は未だ一見も たしたが磐高の轄脈は未だ一見も 行つ次は待つで遺はす、萬 ました。必ず連首は

補州風々都さらて粉來の

3 3 3

家庭滿洲語

紙上講座

日子は日附、日取、日敷、日棚の一番らす意味から、海部(くらし) 期は支那古来の歌 天、 両天 は日戦を戦へる 郷、二號は陽暦で共月のである。

週の

答

艦法に從ふ稱法 下代沒雨雨不拿不不下 雨要有住住要傘穿穿雨 不出雲了了旱去雨鞋了 出去彩就麼傘 走 門兒

【問題】

期チーは有象管の二壁である影響の時に燃く続いて出す位で

院醫男

橋歯科 **電呼出22221**掛

記載を替びま これに動き 診療 午前大時一八時

在婦人科· 人院隨憲

鎮鸣落法痰薬

SANKYO 共

プロチン發賣以來既に十有八年、今や鎮咳祛痰剤中の白眉として新藥界に これ本品は次の如き特長を有するためなり。

> (1) 奏効顯著なること" 咳嗽並に喀痰を伴ふ急性 胃腸障碍その他の副作用を 有せず、應用安全なること…

粉末、錠解、液制各種、削に美味服用至便 なるプロチンボンボン(質薬)あり。

(說明書進呈) Ξ

り下さいますやう、歌右衛門事例 すかか

伯知演

か二ヶ月、一年か二年十年か百年三日か四日、十日か年月、一ヶ月

歌右衛門は脱人の身に で「馬鹿鑾な群な出す。 では、大田本のではて、一

才公 木木 111

から、いつ共命へれた。 一般歌

郷公

一般歌右衛門は

「老願いして、今日一日だけわって活験や、気方がないから御客

き道に選び居ります、

モドキで答へたが、土方総之助で強いろい難を出し四陸山の力 レそれに居る越者共、歌石 芝居銀のある勉妙は

さ腹切刀を持つたま、起き上る 既右衛門機お出てにござ 内に從い入って

、既右衛門か辞業れた」 たが、これは辞与業れた う、献右衛門は半井の前 融金、西部融金等の場を移 が大大連において日本解酬 所および満洲人大連市融金 がおよび満洲人大連市融金

的運動を開始することを対している共同戦機を受り監督 は完全なる映画で融和な歴 大新京計

水(境のり、暗汁 月(熊の味噌汁 金、煮豆の味噌汁 木門校演 火を子演味噌汁 紅ベン、棚製能

土(中汁、日本でははいい 大根を油揚の素の

むき身、若布、悪の

野菜サラダイスタースープ 子

尚熄まぬ反日 彩ない

1

とさいませう、検視代りに無さ其 然るに数響者の切腹、節に殿物に がある。

・ 立「感表し懸みのため見物いたす」 ・ 立「感表し懸みのため見物いたす ・ で、就きましては時頭を進へね ・ でう。就きましては時頭を進へね ・ でう。就きましては時頭を進へね

を さりし共方、健か中井 を さりします、他の さりします。 を か 中井 を ではないが 身が 揺って でんって 水る こはこ 、歌右衛門が初めて串任織のある事であらう

継「未練なここを申すな、久庵切す」 土「半井約束の五ッは鳴るぞ、戯 御猪様を願いま 十五日開院式を駆行し 帝國議會召集

年「打切る流は、

心物にりさな感三歌の上に腱切刀心物にりさな感三歌の上に腱切刀

時議會の銀分が横遥して来います。 の未だ曾て見たこさのな の未だ曾て見たこさのな の未だ曾て見たこさのな 第六十四議会は二十四第六十四議会は二十四十五日解院式を繋が、本議会は淄州事態を費、農村振覧その健康

の洪水に貨車繰りが間に合はす大浦鰯では急激な出継りを見た特能 **満洲景氣の一點彩**

回顧

町尻侍從武官來連

『大・、 左線が、それなればこれが、 実方は日本一の名像甲村歌右

で 三角地帯第三次計 三角地帯第三次計

はその開始以来拠

三重ない 清凉な消え込みと 軟度と な香 3 ٤ 0

なら定評ある -

.

里勢伊連大

0. N-4

(横行洋摩志)ニニ町狭若帯連大 苗三一八八話電

B 院醫場馬

聖六五〇二番 2代町/停留所中間 (連信濃町九〇 走医院

含嗽。